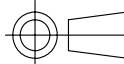


室外ユニット形名
PUHY-P450M-E
PURY-P450M-E
PUHY-P560MKHB(S)-E-ST
(PUHY-P560MKH-E)
PUHY-P355REM-A
PUHY-P450EKM-A-ST
PUHV-P450M-E
MCAV-P400E
CAH-P250CQ-H
PUHV-P224LM-E
PUHV-P280LM-E
PUHV-RP224LM-E
PUHV-RP280LM-E

- 注1. 防雪架台の高さHは、予想される積雪量の2倍程度として下さい。又、架台はアングル鋼材等で組み立て、風雪の素通りする構造とし架台の幅はユニットの寸法より大きくならないよう決定して下さい。
(大きすぎると、その上に積雪します)
2. ユニット設置時、季節風が吹出口、吸込口の正面から当たらないように考慮して下さい。又、シュートサイクルにならないように十分なスペースを確保して下さい。
3. 屋根から雪が落ちる場所への設置はさけて下さい。又、雪下ろしは早めを実施して下さい。
4. 本図を参考として、現地に架台の製作、施工を実施して下さい。

改定 CHANGE
適用室外機形名追加のため
改定
'09-11-14 加藤(智)
梶村 A

出図先()	
控 1	
DIM.IN mm	
尺度 SCALE	
NTS	

三菱電機システムサービス株式会社			
作成日付 DATE	'06 — 10 — 31	検 認 APPROVED	梶 村
作 成 DRAWN	加藤(智)		
照 査 CHECKED	岩 村		
設 計 DESIGNED	加藤(智)		

TITLE	AG1T-KC83SD 防雪フード組込図
DWG.No.	X903703M00371